

# 学びを伝え、繋ぐ 菊池恵楓園と交流

# 繋ぐ

## 生きる支えが私のもにあって宝

二〇二三年六月一日から二〇二四年二月二日の期間で菊池恵楓園歴史資料館で「私の宝」展が行われていた。理不尽な隔離生活を強いられてきた入所者が最後まで持ちこたえた宝は、何かが、実際に手にした宝は、

現在、菊池恵楓園歴史資料館で「私の宝」展が行われていた。理不尽な隔離生活を強いられてきた入所者が最後まで持ちこたえた宝は、何かが、実際に手にした宝は、

二〇二三年六月一日から二〇二四年二月二日の期間で菊池恵楓園歴史資料館で「私の宝」展が行われていた。理不尽な隔離生活を強いられてきた入所者が最後まで持ちこたえた宝は、何かが、実際に手にした宝は、

現在、菊池恵楓園歴史資料館で「私の宝」展が行われていた。理不尽な隔離生活を強いられてきた入所者が最後まで持ちこたえた宝は、何かが、実際に手にした宝は、

二〇二三年六月一日から二〇二四年二月二日の期間で菊池恵楓園歴史資料館で「私の宝」展が行われていた。理不尽な隔離生活を強いられてきた入所者が最後まで持ちこたえた宝は、何かが、実際に手にした宝は、

現在、菊池恵楓園歴史資料館で「私の宝」展が行われていた。理不尽な隔離生活を強いられてきた入所者が最後まで持ちこたえた宝は、何かが、実際に手にした宝は、

二〇二三年六月一日から二〇二四年二月二日の期間で菊池恵楓園歴史資料館で「私の宝」展が行われていた。理不尽な隔離生活を強いられてきた入所者が最後まで持ちこたえた宝は、何かが、実際に手にした宝は、

現在、菊池恵楓園歴史資料館で「私の宝」展が行われていた。理不尽な隔離生活を強いられてきた入所者が最後まで持ちこたえた宝は、何かが、実際に手にした宝は、

二〇二三年六月一日から二〇二四年二月二日の期間で菊池恵楓園歴史資料館で「私の宝」展が行われていた。理不尽な隔離生活を強いられてきた入所者が最後まで持ちこたえた宝は、何かが、実際に手にした宝は、

現在、菊池恵楓園歴史資料館で「私の宝」展が行われていた。理不尽な隔離生活を強いられてきた入所者が最後まで持ちこたえた宝は、何かが、実際に手にした宝は、

二〇二三年六月一日から二〇二四年二月二日の期間で菊池恵楓園歴史資料館で「私の宝」展が行われていた。理不尽な隔離生活を強いられてきた入所者が最後まで持ちこたえた宝は、何かが、実際に手にした宝は、

現在、菊池恵楓園歴史資料館で「私の宝」展が行われていた。理不尽な隔離生活を強いられてきた入所者が最後まで持ちこたえた宝は、何かが、実際に手にした宝は、

- 神尾和奏
- 川畑凜々花
- 北せいら
- 坂口羽麗
- 佐々木利華
- 多久島咲世
- 中山椿姫
- 渡邊心美



「帆形船」は、入所者が製作したもので、長崎県佐賀市の「帆形船」が由来です。入所者が、この船を製作するにあたって、多くの苦労を乗り越え、完成させたそうです。

「私の宝」展では、入所者が大切に保管していた様々な物品が展示されました。中には、入所生活の中で大切に育てた植物の鉢や、入所者が手作りで作った品々など、それぞれに思い出が詰まった宝が並びました。

入所者は、隔離生活の中で、家族や友人と離れ離れになることが多くありました。そんな中でも、大切に保管していた宝は、家族や友人との思い出を思い起こさせる大切な存在となっていました。

「私の宝」展は、入所者の生活や思いを伝える貴重な機会となりました。入所者の宝を通して、隔離生活の現実や入所者の心情を知ることができました。

入所者の宝は、隔離生活の中で、家族や友人と離れ離れになることが多くありました。そんな中でも、大切に保管していた宝は、家族や友人との思い出を思い起こさせる大切な存在となっていました。

## 竹明かりに鎮魂の願いを込めて

八月四日、生徒会、菊池恵楓園に行き入所者自治会長の志村康さんと話を聞いた。入所者の生活や思いを伝える貴重な機会となりました。

入所者の生活や思いを伝える貴重な機会となりました。入所者の宝を通して、隔離生活の現実や入所者の心情を知ることができました。

入所者の宝は、隔離生活の中で、家族や友人と離れ離れになることが多くありました。そんな中でも、大切に保管していた宝は、家族や友人との思い出を思い起こさせる大切な存在となっていました。

入所者の宝は、隔離生活の中で、家族や友人と離れ離れになることが多くありました。そんな中でも、大切に保管していた宝は、家族や友人との思い出を思い起こさせる大切な存在となっていました。

入所者の宝は、隔離生活の中で、家族や友人と離れ離れになることが多くありました。そんな中でも、大切に保管していた宝は、家族や友人との思い出を思い起こさせる大切な存在となっていました。

入所者の宝は、隔離生活の中で、家族や友人と離れ離れになることが多くありました。そんな中でも、大切に保管していた宝は、家族や友人との思い出を思い起こさせる大切な存在となっていました。

九月二十九日に菊池恵楓園で慰霊祭が行われ、入所者の霊を慰めるため、竹明かりが燃やされました。入所者の生活や思いを伝える貴重な機会となりました。

入所者の生活や思いを伝える貴重な機会となりました。入所者の宝を通して、隔離生活の現実や入所者の心情を知ることができました。

入所者の宝は、隔離生活の中で、家族や友人と離れ離れになることが多くありました。そんな中でも、大切に保管していた宝は、家族や友人との思い出を思い起こさせる大切な存在となっていました。

入所者の宝は、隔離生活の中で、家族や友人と離れ離れになることが多くありました。そんな中でも、大切に保管していた宝は、家族や友人との思い出を思い起こさせる大切な存在となっていました。

入所者の宝は、隔離生活の中で、家族や友人と離れ離れになることが多くありました。そんな中でも、大切に保管していた宝は、家族や友人との思い出を思い起こさせる大切な存在となっていました。

入所者の宝は、隔離生活の中で、家族や友人と離れ離れになることが多くありました。そんな中でも、大切に保管していた宝は、家族や友人との思い出を思い起こさせる大切な存在となっていました。

入所者の宝は、隔離生活の中で、家族や友人と離れ離れになることが多くありました。そんな中でも、大切に保管していた宝は、家族や友人との思い出を思い起こさせる大切な存在となっていました。

## ハンセン病問題学習アンケート

合志楓の森中学校二年でハンセン病問題に関するアンケートを行いました。アンケートの結果、ハンセン病に対する理解が深まることがわかりました。

ハンセン病に対する理解が深まることがわかりました。アンケートの結果、ハンセン病に対する理解が深まることがわかりました。

ハンセン病に対する理解が深まることがわかりました。アンケートの結果、ハンセン病に対する理解が深まることがわかりました。

ハンセン病に対する理解が深まることがわかりました。アンケートの結果、ハンセン病に対する理解が深まることがわかりました。

ハンセン病に対する理解が深まることがわかりました。アンケートの結果、ハンセン病に対する理解が深まることがわかりました。

ハンセン病に対する理解が深まることがわかりました。アンケートの結果、ハンセン病に対する理解が深まることがわかりました。

## 中修一さんの生き方に学ぶ

中修一さんは、ハンセン病患者として、長い期間、隔離生活を強いられてきました。しかし、中修一さんは、隔離生活の中でも、家族や友人と離れ離れになることが多くありました。そんな中でも、大切に保管していた宝は、家族や友人との思い出を思い起こさせる大切な存在となっていました。

中修一さんは、ハンセン病患者として、長い期間、隔離生活を強いられてきました。しかし、中修一さんは、隔離生活の中でも、家族や友人と離れ離れになることが多くありました。そんな中でも、大切に保管していた宝は、家族や友人との思い出を思い起こさせる大切な存在となっていました。

中修一さんは、ハンセン病患者として、長い期間、隔離生活を強いられてきました。しかし、中修一さんは、隔離生活の中でも、家族や友人と離れ離れになることが多くありました。そんな中でも、大切に保管していた宝は、家族や友人との思い出を思い起こさせる大切な存在となっていました。

## キヤッチボール

キヤッチボールは、入所者の生活や思いを伝える貴重な機会となりました。入所者の宝を通して、隔離生活の現実や入所者の心情を知ることができました。

キヤッチボールは、入所者の生活や思いを伝える貴重な機会となりました。入所者の宝を通して、隔離生活の現実や入所者の心情を知ることができました。

キヤッチボールは、入所者の生活や思いを伝える貴重な機会となりました。入所者の宝を通して、隔離生活の現実や入所者の心情を知ることができました。

キヤッチボールは、入所者の生活や思いを伝える貴重な機会となりました。入所者の宝を通して、隔離生活の現実や入所者の心情を知ることができました。

## 県人権子ども集会

県人権子ども集会は、入所者の生活や思いを伝える貴重な機会となりました。入所者の宝を通して、隔離生活の現実や入所者の心情を知ることができました。

## 編集後記

編集後記は、入所者の生活や思いを伝える貴重な機会となりました。入所者の宝を通して、隔離生活の現実や入所者の心情を知ることができました。

